

社会福祉法人 鷹見会

住所：松戸市小金原 6-2-4

電話：047-342-0575



今月のワンポイント ～誤嚥予防・音読～

誤嚥性肺炎とは、食べ物が食道ではなく、気管に入ることによって発症します。

日本人の死因の第3位は肺炎。高齢者の肺炎の7割以上が「誤嚥性肺炎」です。音読で口・舌・声帯などを鍛え、誤嚥性肺炎を予防しましょう。

音読の方法

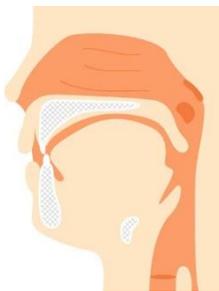
- ①良い姿勢で
- ②呼吸を意識して
- ③口・舌を動かして
- ④ゆっくりと
- ⑤大きめの声で
- ⑥毎日2～3分

音読：声を出して文字を読むこと



飲み込みと発声は、同じ器官を使うので・・・

発声練習は、嚥下機能も鍛えます。一石二鳥！



今月の『脳楽習』「季節を告げる生き物・植物」

鳴き声なごえが特徴的な春はるの鳥とり。「春告鳥はるつげどり」の別名べつめいがある。



ヒント

- ① ホトトギス
うぐいす
- ② 鶯
- ③ ツグミ



～失語症のタイプと症状～

ブローカ失語：聞く力は良好、話す・書くことが困難

ウエルニッケ失語：言い間違いが多い、聞いて理解する事が困難

全失語：聞く・話す・読む・書く力のすべてに重度の障害

伝導失語：会話良好、復唱困難、物の名の一部を言い誤る

失名詞失語（健忘失語）：会話・復唱良好、人や物の名が出にくい

失語症の約8割が脳卒中によるものです。また、脳卒中を発症した人の約2割に、失語症が出現するとされています。



答え：①うぐいす 「ホーホケキョ」と鳴くのは雄です。2月から8月くらいまで鳴きます。その声は、日本三鳴鳥と称されます。背中の色はオリーブ褐色。雀くらいの大きさです。